

進路指導室から 第396号

はじめに

10月も中旬を過ぎると寒く感じる日が増えてきました。いつも間にか、広島城周辺の木々の紅葉も始まりました。

さて、9月30日（金）の毎日新聞に、お笑い芸人パッキンことパトリック・ハーランさんのインタビュー記事が掲載されていました。ハーランさんは、ハーバード大学比較宗教学部を卒業し、1997年にお笑いコンビ「パッキンマックン」を結成、2012年から東京工業大学の非常勤講師を務められています。記事の内容は、幼少の頃、決して恵まれた状況ではなかったハーランさんの逆境を乗り越えてきた経緯についてのものでした。ハーランさんは、「不公平な社会」に対しての怒りをもちつつも、困難を乗り越えることを通して身につけた力について以下のように述べています。

成功者に対して「あの人は三塁の場所に生まれてホームに入っただけ。本人は本塁打を打ったつもりだけどね」という批判（の言葉）があるんです。でも、僕は正直、二塁ぐらいに生まれているんですよ。

（出身は）先進国のアメリカですし、まだ差別が深く残っている社会の中で「過半数の人種」でしたし、男性ですしね。差別対象ではなかった。健康体で、頭もルックスもいいしね（笑い）

僕は二塁に生まれているとは思いますが、お金持ちではない。（成功者を見て）「親の七光りで成功してもかっこ悪いぞ」「俺が追い抜くぞ」と思っていました。とにかく心がタフになったよね。

同時に、少数の人種だったりして、一塁の所に生まれた人もいます。そうした子どもが成功するには、二塁にいる僕よりも大変なこと。「僕よりも大変な人がいる」という謙虚な気持ちや、広い視野を持てたと思います。

ハーランさんの言葉に対して、いろいろな捉え方があるかもしれませんが、不透明な世の中だからこそ、どんな境遇においても、前に進んでいける強さとしたたかさをもつことは大切なことだと思っています。

「第3回保護者対象進路研修会」について

10月15日（土）に本校視聴覚教室で、「第3回保護者対象進路研修会」を行いました。当日は、河合塾広島校 校長 長谷川 智彦 様を講師としてお招きし、「医学科入試について」をテーマに、「大学入試の基礎知識」、「医学部医学科入試の知識」「大学入学共通テスト」「2022年度入試結果の全体概況」「医学部に合格するために必要なこと」「保護者の関わり方」などについてお話をいただきました。当日は、約20名の保護者の参加がありました。



お話の中で、医学科進学者に求められるものとして、「積極的に学習する姿勢」「コミュニケーション能力」「医療者としての倫理観・責任感」をあげられました。「コミュニケーション能力」とは、相手に共感し、安心感を与えつつ、必要な情報を会話から引き出すとともに、会話の内容から重要な情報に気づき、深い内容を引き出す能力です。つまり、相手を思いやること、相手の気持ちを考えられること、他人と協力して何かができること、そして、わかりやすく物事を他人に説明することができる力のことです。また、医学科に合格できる生徒として、「医師になるという強い信念を早くからもっている」「基礎学力、反復学習の重要性を理解し実践している」「計画的な学習ができている」「生活リズム、学習リズムが安定している（早起きである）」「学習環境が整ってる」「何でも話せるライバルがいる」「人の意見を聞く耳をもっている」ことをあげられました。

次回の「第4回保護者対象進路研修会」は、12月3日（土）に行います。テーマは、「2023年度入試の動向について」です。駿台予備学校広島校から講師をお招きし、いよいよ本格的に始まる2023年度入試の動向について、最新の情報を提供していただく予定です。

「東北大学工学部出張講義」について

以下にて、「東北大学工学部出張講義」を行います。

日 時	: 令和4年11月4日（金） 15:45~17:15（90分）
場 所	: 視聴覚教室
内 容	: 「日本の未来を支えるアルミニウム産業
講 師	: 東北大学 大学院工学研究科 材料システム工学研究学専攻 教授 コマロフ・セルゲイ 様

東北大学工学部の材料工学は世界でもトップレベルの研究が行われていることで知られています。ぜひとも、生徒たちには積極的に参加してもらいたいと思っています。進路指導室前に申込用紙を用意していますので、希望者は必要事項を記入し、ボックスに提出してください。

「令和7年度入学者選抜における大学入学共通テストの扱い」について

「進路指導室から第393号」で、北海道大学は、令和7年度入学者選抜における大学入学共通テストの科目「情報Ⅰ」の成績は配点しないことを示しました。その後、他大学について調べていく中で、「情報Ⅰ」の扱いについて明らかにしている大学が北海道大学を含め5大学あることがわかりました。以下は、その概要です。

〔令和7年度入学者選抜における大学入学共通テストに係る「情報Ⅰ」の扱いについて〕

大 学	概 要
北海道大学	大学入学共通テストの情報Ⅰの成績は配点しません。なお、本学が指定した個別学力検査等の教科・科目等の全てを受験していなければ、合格者としません。また、成績同点者の順位決定にあたっては、個別学力検査等の成績を重視します。個別学力検査等の成績も同点の場合は、大学入学共通テストの情報Ⅰの成績を活用します。
筑波大学	導入1年目（令和7年度入試）は特に高等学校卒業生への影響の大きさを考慮し、受験者全員に対する配慮として、例えば配点を低くするといった負担軽減策を講じます。
徳島大学	令和8年度入学者選抜（令和7年度実施）までは「総合判定の参考」とし点数化を行いませんが、令和9年度入学者選抜（令和8年度実施）より点数化を行う予定です。
会津大学	一般選抜Aでは、理科と情報の得点を比較し、高得点の科目の成績を利用します。（※情報Ⅰの得点は未発表のため、100点を超える場合は、100点満点に換算して利用します。）
三重県立看護大学	国語（100点）、地理歴史・公民（100点）、数学（100点）、理科（100点）、情報（50点）

なお、こうした動きに対して、一般社団法人情報処理学会は、「大学入学共通テストで「情報」を必須としつつ配点しない入試に対する本会の見解」として以下のように示しています。

〔大学入学共通テストで「情報」を必須としつつ配点しない入試に対する本会の見解〕

令和7年度入学者選抜（令和6年度実施）において、大学入学共通テストで「情報」を必須として課すにも関わらず、配点しないと予告した国立大学があります。本会は、このような不適切な入試を看過できず、すべての受験科目に適切な配点が行なわれることを強く求めます。 入試科目は点数化してその理解到達度を測定するために課すものであり、配点しない科目の受験を強いるのは、入試の実施根拠そのものを喪失することになります。加えて、高校教育の成果を測定することになる入試において配点しないというのは、高校教育におけるその科目の意義を否定することになります。 また、大学入学共通テストにおいて原則として「情報」を課すとした国立大学協会の基本方針を形骸化するものです。以上の理由により、本会は、すべての受験科目に適切な配点が行なわれることを強く求めます。

これからも、他大学の今後の動向に注視していきたいと思っています。

「東京工業大学と東京医科歯科大学の統合」について

10月14日（金）に、東京工業大学と東京医科歯科大学は、統合に向けた基本合意書を締結しました。今回の統合は「1法人1大学」の統合形式になりますが、新たな医歯理工学のグランドデザインのもとで組織・研究者・教育の融合を進め、国際的に卓越した教育研究拠点として一から新しい大学を構築することになります。また、統合時期は、2024年度中をめどにできる限り早期を目指しています。新大学の名称については、新大学が目指す姿を反映した名称を考えており、なるべく速やかに決定するとしています。統合時は、両大学が設置する学位・教育課程・収容定員は変更しないとしています。なお、国立大学法人第4期中期目標期間である2028年3月までを新大学における移行期間ととらえ、学位・教育課程の変更をともなう組織改編も含め、速やかに議論を進める予定です。これにより指定国立大学法人同士によって誕生する他に類を見ない新しい大学が誕生します。

〔東京工業大学並びに東京医科歯科大学の科学研究費補助金と外部資金の状況〕

	東京工業大学	東京医科歯科大学	東京大学（参考）
科学研究費補助金	44億9,507万円（8位）	18億8,812万円（17位）	214億3,677万円（1位）
外部資金	111億3,120万円（9位）	50億6,966万円（15位）	670億8,200億円（1位）

※ 科学研究費補助金：国からさまざまな機関の研究を支援するために提供される資金

※ 外部資金：企業、省庁、自治体などから研究のために提供される資金

終わりに

コロナ禍で、いろいろなイベントが中止となっていましたが、少しずつイベントが再開されつつあります。この時期のイベントといえば、「ひろしまフードフェスティバル」です。「ひろしまフードフェスティバル」も3年ぶりに開催されます。規模は縮小しての開催となりそうですが、会場は広島城周辺とすぐそばです。この日は、1・2年生保護者対象進路説明会が行われます。時間があればブースを覗いてみたいと思っています。